

令和3年11月18日

美深町議会議長 南 和 博 様

総務住民常任委員会委員長 藤 原 芳 幸

## 所 管 事 務 調 査 報 告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

### 記

調 査 日 令和3年10月28日

調査方法 聞き取り

調査事項 町民の健康管理について

### 調査内容

#### ①厚生病院の運営状況

平成30年度以降3年間の美深厚生病院の利用状況は、微減の傾向が続いている。令和2年度の収入では、利用単価の上昇がみられ、コロナ対策支援金などもあり増加した。支出では、平成30年10月から常勤医が着任したことと、看護師の配置状況などの要因により経費が圧縮され、町の補助金額は減少している。

#### ②電子カルテの整備状況と導入後の姿

美深厚生病院では、令和3年12月に電子カルテ、医療用画像管理、検査・調剤のカルテとの連携が稼働し、地域連携システムは令和4年3月に稼働予定であり、院内業務の効率化や待ち時間の軽減、正確な情報管理など、効果が期待される。

#### ③特定健診の現状

国民健康保険に加入する40歳から74歳の対象者の受診率は、道平均を大きく上回るものの、年々下降傾向で、令和2年度で46.51%であった。75歳以上の後期高齢者は22%前後で推移している。後期高齢者については、日頃の病院利用が多く健康状態の把握ができていることもあり、国保対象者よりも低い結果になっていると推測される。

#### 国民健康保険特定健診受診率（40歳～74歳）

年度	対象者数	受診者数	受診率（美深）	受診率（北海道）
平成28年度	880人	497人	56.48%	27.60%
平成29年度	838人	443人	52.86%	28.10%
平成30年度	818人	424人	51.83%	29.50%
令和1年度	807人	403人	49.94%	28.90%
令和2年度	789人	367人	46.51%	—

#### 後期高齢者健康診査受診率（75歳以上）

年度	対象者数	受診者数	受診率（美深）	受診率（北海道）
平成28年度	973人	200人	20.55%	13.74%
平成29年度	966人	225人	23.29%	13.92%
平成30年度	954人	228人	23.90%	14.24%
令和1年度	1,001人	229人	22.88%	13.94%
令和2年度	921人	203人	22.04%	11.52%

#### ④ワクチン接種進行状況

新型コロナワクチンの接種状況では、10月20日時点で対象者3,784人に対し、3,406人が2回の接種を終え、接種率は90.01%となっている。今後も接種を希望する方への対応を継続していく。

3回目のワクチン接種については、2回目接種後8ヶ月経過することが目安となっており、接種に向けた準備を進めるよう国や道から通知が出ている。

町独自のワクチン接種証明書を発行する考えはないが、ワクチン接種時に発行された「ワクチン予防接種済証」が証明書となる。

#### 新型コロナワクチン接種状況

10月20日現在

年齢	対象者数	2回接種済者数	接種率
12～19歳	221人	162人	73.30%
20～29歳	257人	215人	83.66%
30～39歳	299人	253人	84.62%
40～49歳	490人	424人	86.53%
50～59歳	501人	454人	90.62%
60～64歳	264人	245人	92.80%
65歳以上	1,752人	1,653人	94.35%
<b>計</b>	<b>3,784人</b>	<b>3,406人</b>	<b>90.01%</b>

## ⑤コロナ禍での町民の健康状況は

国民健康保険被保険者の医療機関の利用状況は、コロナ禍に伴う外出自粛や医療機関の利用控えなどが考えられ、旭川や名寄など町外での利用減少が顕著であり、町内においても若干の利用減が発生しており、医療費は令和元年度及び令和2年度ともに前年度を下回った。

## ○調査のまとめ

美深厚生病院において導入に向けた準備が進む電子カルテは、システムの導入により会計時間の短縮による待ち時間の軽減をはじめ、薬の処方や注射などが電子オーダーとなることにより正確性が保てることや、検査結果や画像情報の時系列での検索が容易となり、診療方針が迅速に決定できるなど、患者及び医療スタッフ双方に利点があり、さらには周辺医療機関との連携により診療情報が共有され、迅速、円滑な診療が可能となる。このような利点を最大限発揮できるような運用を切に望むものであり、このことで厚生病院の信頼性の向上につながることを大いに期待したい。

加えて、常勤の内科医が定着していることは、町民にとって非常に安心で喜ばしいことであり、今後は、町内医療体制の充実がさらに図られるよう、美深町開業医誘致条例を活用した新たな開業医の誘致にも継続的に取り組むべきである。

本町における町民の健康状況については、コロナ禍に伴い医療機関の利用減少がみられているが、定期的な医療機関の利用が健康維持に繋がっていた側面もあることから、今後の健康状態の変化やフレイルの進行などについて懸念される状況にあり、注視していく必要がある。

また、健康管理に大きな役割を果たしている特定健診受診率は下降傾向であり、健康管理業務を担う保健師と住民との関係づくりを進め、受診者を増やす対策や、健診を終えた人へのアフターケアなどを充実させることも重要である。

現在、保健福祉グループでは、通常健康管理とコロナへの対応とが重なり合い、大変な状況下での業務となっているが、保健師の募集も行っており、今後、体制確保が図られ、町民の健康管理がさらに充実されることを期待したい。